

空き家を “使いつくす” 社会づくり

— 空き家の活用をもっと身近に、幅広く —

年々空き家が増加する中、地域の活性化に空き家を活用する取組が数多く展開されています。また、危険な空き家を除却する制度も整備・運用され、活用・除却の両面で空き家の対策がなされているところです。しかし、増加数に対応するにはもっと数多くの空き家を活用・除却する仕組みづくりが必要です。空き家所有者への相談体制、まちづくりに空き家を活用するエリアマネジメント、事業主体への経営・資金調達の支援、空き家の改修、行政の支援等、様々な視点・取組事例から、空き家の活用・除却をもっと身近に、幅広く行う「空き家を使いつくす」社会の仕組み・環境づくりを考えるシンポジウムを開催します。

日時

11/19 (日)
14:00 ~ 16:45

オンライン開催

事前申込み制 定員200名

都市計画学会会員・学生：無料
非会員：1,000円

※「都市計画CPD」認定プログラムです

申込期限
11/13 〆切



第一部

話題提供 (14:10~15:35)

- ① もっとつながやすく！ 空き家バンクの登録・活用促進
安枝 英俊 氏 (兵庫県立大学 環境人間学部 教授)
- ② もっと手厚く！ 空き家の活用を促す支援
中尾 元 氏 (兵庫県 まちづくり部 住宅政策課)
- ③ もっと魅力的なまちに！ 空き家でエリアマネジメント
畑本 康介 氏 (株式会社 緑葉社 代表取締役)
- ④ もっとはじめやすく！ エリアマネジメントの事業化
廣瀬 哲也 氏 (一般財団法人 民間都市開発推進機構)
- ⑤ もっと身近に空き家改修を！ 古いものの価値向上
才本 謙二 氏 (才本建築事務所 主宰)



第二部

パネルディスカッション (15:45~16:45)

● コーディネーター



佐伯 亮太 氏
(合同会社Roof 共同代表)

● パネリスト

安枝 英俊 氏、中尾 元 氏、
畑本 康介 氏、廣瀬 哲也 氏、
才本 謙二 氏

登壇者 について

やすえだ ひでとし

安枝 英俊 氏

兵庫県立大学環境人間学部教授。博士（工学）。研究分野は、住宅・住宅地計画、空き家対策・活用、住宅地における交流空間。近年は、自治体が運営する空き家バンクの登録・活用促進、ニュータウンにおける住み替え支援、大学・地域連携による交流空間の活用といった研究を行っている。

なかお はじめ

中尾 元 氏

兵庫県住宅政策課住宅政策班住宅政策担当主幹。これまで都市計画や市街地整備等の業務への従事を経て、現職に。空き家活用に向けた規制緩和制度等を盛り込んだ全国初の「空き家活用特区条例（令和4年4月1日施行）」など、空き家に関する施策全般を担当している。

はたもと こうすけ

畑本 康介 氏

株式会社緑葉社代表取締役。2007年に播磨の地域活性化に寄与すべく「NPO法人ひとまちあーと」を仲間と設立。2015年には、まちづくりのための市民出資会社として緑葉社を引き継ぎ、古い町並みを残すための不動産事業をベースに多様な取組を展開。龍野地区（たつの市）のエリアマネジメントに取り組んでいる。

ひろせ てつや

廣瀬 哲也 氏

一般財団法人民間都市開発推進機構まちづくり支援部担当部長。民間の金融機関の在職時は、主に行政機関への渉外業務や法人融資業務に従事する。その後、一般財団法人民間都市開発推進機構へ。現在は、主にまちづくりファンド支援業務等に従事している。

さいもと けんじ

才本 謙二 氏

一級建築士、才本建築事務所主宰。丹波篠山市を中心に全国各地の空き家200件以上を改修。古民家から国の重要文化財まで用途変更（コンバージョン）を多数手掛ける、「集落丸山」「篠山城下町ホテルNIPPONIA」など。内閣官房 歴史的資源を活用した観光まちづくりタスクフォース専門家会議構成員。

さえき りょうた

佐伯 亮太 氏

博士（工学）。2016年に合同会社Roof創業。地域自治組織のアドバイザーとして兵庫県内各地の地域づくりに携わる。2020年に播磨町まちづくりアドバイザーに就任。協働のまちづくりの実現を目指し、行政と連携しながら活動に取り組む。2023年には佐用町役場縮充戦略アドバイザーに就任し、縮小する中でも充実して暮らせる地域づくりを支援している。

都市計画学会 関西支部 について

関西地域におけるまちづくりは、近年とみに活発化しているが、これらの基を築く都市計画学会の活動は、これまで、ともすれば中央の活動に偏りがちであった。このため、関西地域における都市計画に関する研究活動、情報の交換をさらに活発にして、都市計画関係者の人的交流を図り、あわせて様々なまちづくりを、地域の実情と将来展望に根差したものとして推進し、ならびにその質的向上を図るために、本支部が設立された。

申込・視聴 方法

以下のPeatixのページからお申し込みください。

<https://kansaikikaku20231119.peatix.com>

（11月13日申込締切）



【お申し込みについて】

- ※申込には、Peatixへの登録が必要です。
- ※決済方法はPeatixの定める方法に従ってください。（クレジットカード、コンビニ／ATM、Paypal対応）
- ※申込後に接続URLをお知らせいたします。
- ※学会員の方も参加費は無料ですが、Peatixでのお申し込みをお願いいたします。申込後、会員番号の確認をいたします。
- ※本シンポジウムは、「都市計画CPD」認定プログラムです。CPD認定のため、Zoom参加時は申込と同じ氏名とメールアドレスを使用してください。異なる情報をやむを得ずご利用の場合には、メールにてお問い合わせください。
- ※領収書の発行については、Peatixの定める方法に従ってください。

【視聴方法について】

- ※Zoomのウェビナー機能を利用したオンライン開催です。
- ※次のURLからソフトを事前にダウンロードしてご準備ください
<https://zoom.us/ja/download>
- ※Zoomの基本的な操作方法、通信・接続環境についても、各自でご準備いただきますよう、お願いいたします。通信環境の影響で接続できない場合でも、参加料等の払戻は対応しかねます。
- ※当日の動画・資料の撮影、SNSなどへの公開はお控えください。

お問い合わせ先 都市計画学会関西支部企画委員会 cmt_plan@cpij-kansai.org